美山学だより

Team MIYAMAGAKU まちごとスクール編

美山小中学校学校運営協議会 発行
連絡先：美山小学校 Tel：75-0017
美山中学校 Tel：75-0027
令和８年９月１５日 発行 NO.50

今年度
初の取組です

５月29日に第１弾、８月27日に第２弾を開催しました。

まちごと School Meeting
～ 美山の子育て・教育の「いま」を知り、次の一歩へ ～



共催：美山まちづくり委員会様

第一弾は「地域とともにある教育」をテーマに開催しました。園・小中学校教員・保護者・地域・行政など多様な立場の 124 名が集い、これからの学びや子どもたちの未来について共に考えました。

①「いま、教育はなぜ変わろうとしているのか」
文部科学省　文教施設企画　計画課長　廣田貢氏

生成 AI の普及や急速な社会変化の中で、主体的に学び続ける力や多様な人と協働する力が求められています。子どもたちの未来のために、学校・家庭・地域が一体となって学びを支える大切さを学びました。

②「こども園の今～保育の変化と現在地～」
みやまこども園　園長　曽利恵理子氏

子どもが自ら考え、選び、行動する主体的な保育への転換について紹介いただきました。環境づくりや保育の見直しを通して育まれる子どもたちの成長から、学びの原点を考える機会となりました。





③「美山学の始まり～10 年の歩み～」
美山小学校地域コーディネーター　古北真里

小学校再編をきっかけに始まった熟議から生まれた「美山学」。学校・家庭・地域が願いを共有しながら歩んだ 10 年を振り返り、地域全体で子どもを育てる学びの広がりについてお伝えしました。

④「地域とともにある学校づくりとその先へ」
北海道十勝郡浦幌町教育長　上田真弓氏（※美山小運営協議会委員）

浦幌町の実践をもとに、地域の教育力を生かした学びの大切さを学びました。子どもが地域と関わりながら成長し、将来は地域を支える存在へ。大人も学び続ける姿勢の重要性が語られました。



講演後は「できる形で関わる一歩」について参加者同士で対話を行い、学びや気づきを共有しました。立場を超えて意見を交わす中で、地域ぐるみで子どもを育てる意義を再確認し、同じ方向を向いて歩んでいく大切さを感じる時間となりました。





↑　熱い議論が繰り広げられ、「話し足りない！」という声が多く聞かれたので・・・

第２弾「ワークショップ（熟議）編」を開催！！



第１弾で生まれた思いや気づきをもとに、教職員・保護者・地域住民が集まり、「子ども・学校・地域がともに育つしくみづくり」を考える第一歩として、『美山の子どもたちにどう育ってほしいか』をテーマに対話を行いました。






参加者からは、「地域を学びの場にしたい」「子どもたちの主体性や挑戦を応援したい」「地域みんなで子どもを育てていきたい」といった意見が多く寄せられました。
今後も対話を重ねながら、「地域とともにある教育」の実現に向けて取り組みを進めていきます。



次回は 2027 年１月頃、「できる形で関わる一歩」を実践した報告会を開催予定です。
子どもも大人も、それぞれの立場で地域や学びに関わるチャレンジを重ねながら、地域ぐるみの学びを進めていきます。



ホームページでは学校の様子を公開中です！
美山学の取組についてもより深く詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。▶▶▶▶▶

地域のお力をお貸しください！

放課後子ども教室の講師や、60 分プロジェクトの見守りボランティア等を募集しています。子どもたちの学びや成長を地域で支えるため、皆さんのお力をお貸しください。

お問合せご質問はお気軽に　美山小学校　まで　連絡先：７５-００１７

まちごとSchoolMeeting

「美山学」では、地域と学校と保護者が一緒になって子どもたちの学びについて考え、美山の歴史・文化・自然・人・物・事を教材として学びます。地域の方たちが Team-MIYAMAGAKU として受け皿となり、自ら考える力、表現力、コミュニケーション能力を高める学習に取り組んでいます！